

【自然科学研究科5年一貫制博士課程 ディプロマ・ポリシー】

国際的に活躍できる自立した研究者としての能力を身につけた人に博士の学位を授与します。すなわち、地球・惑星の物質科学に関する専門分野の最先端の学術的知見を修得し、関連した分野の知識・技術にも造詣があり、専門分野に関連した課題を自立的に抽出したり解決したりする能力を身につけ、自らが探究して実施した研究成果を学術的創造性に富んだ博士論文として纏めた人に学位を授与します。

【自然科学研究科5年一貫制博士課程 カリキュラム・ポリシー】

自然科学研究科5年一貫制博士課程では、ディプロマ・ポリシーに掲げる「人材を育成するため、地球惑星物質科学専攻を設置します。本専攻では、論理的な課題解決能力や多種多様な課題への柔軟で的確な対応能力を育み、自立した研究者として国際的視野や豊かな創造性を涵養する学位プログラムを提供し、専門分野に応じた体系的かつ順次性をもった教育を行います。

【地球・惑星の物質科学に関する専門分野の最先端の学術的知見の修得】

本専攻では、入学時から一貫した体系的な専門教育により、専門化された分野の最先端の知識・技術を学び考究する。また、広く人間社会を見渡せる視野と、地球・惑星の物質科学に関する幅広い学術的知見を獲得し自己の学問的基盤を拡げるために、指導教員の指導により自己の属する専門分野とは異なる地球科学物質分野の授業科目も履修可能とします。

【専門分野に関連した課題を自立的に抽出したり解決したりする能力の獲得】

現代の国際社会及び科学・技術が直面する課題を認識して解決するため、専門とする分野において自らが計画策定に携わった科学研究を遂行し、その成果を社会に還元するために国内外の学会等で発表したり、学術論文を執筆したりすることを通して、専門分野に関連した課題を自立的に抽出したり解決したりする能力の養成を目指します。また、策定された科学研究を遂行する過程において、学生自らが主体となってグループディスカッション等を行います。これにより、自立的に問題を抽出したり解決する能力を充実させ、研究を深化させます。

本専攻では、学生は指導教員の指導の下に体系的な授業科目の履修を進めます。各授業科目の単位修得の認定は、試験または課題達成度により担当教員が厳格に行います。2年次後期に口頭試問と小論文からなる学位取得資格審査試験を実施し、学修達成度を確認します。学位論文は、申請者ごとに決められた学位審査委員会において、世界的視野から見た研究成果の独創性と新規性、学術的価値及びデータの信頼性と考察の論理性について審査され、さらに、申請者が自立した研究者として研究活動に従事しうる研究能力とその基盤となる豊かな学識を有していることを確認するための最終試験により合格の判定が行われます。なお、学生の研究計画に対する正・副指導教員の指導は研究指導書として年度ごとに策定することを義務化し、専攻内で相互チェックを可能にします。

自然科学研究科では大学院教育の充実や改善を図るため、学務委員会を中心として授業計画の充実やFD活動を始めた教育方法の改善に継続的に取り組んでいます。

【自然科学研究科5年一貫制博士課程 アドミッション・ポリシー】

地球を含む太陽系惑星の物質科学に高い関心を持ち、将来国際的に活躍できる研究者を目指して自己研鑽のできる、意欲ある人を、専門領域を限定せず国内外に広く募集します。口頭試問及び書類審査により、専門的基礎学力及び課題設定能力や課題解決能力を専攻で定めた基準及び比重に従って評価する入試を行い選抜して受入れます。

求める人材像

自然科学研究科5年一貫制博士課程では、岡山大学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築(知の府として、新たなパラダイムを構築)」を背景に、将来、国際的に自立した研究者として活躍できる人材となりうる素養があり、またその意欲ある人を国内のみならず海外からも広く求めています。

入学者選抜試験

(1) 一般入試

書類審査、口頭試問を課しています。書類審査では受験時までに習得した専門性、キャリアプランなどについて、複数の教員が多面的に確認します。口頭試問では、専門科目に関する知識、理解力等を多面的・総合的に評価します。

学力の3要素対応表

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
	一般入試	◎	書類審査 口頭試問	☆	口頭試問	○

(注)◎は特に重視する要素、○は重視する要素、☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は「主とする資料」であり、それ以外の要素でも活用する場合がある。